



メール連携オプション 一般ユーザマニュアル

2026-10-05



1. 目次

- 1. 目次
- 2. サービス概要
- 3. メール連携オプションの使い方
 - 3.1. 添付ファイル付きメールの送信について
 - 3.1.1. メールの送信
 - 3.1.2. 送信完了
 - 3.2. クリプト便の受信について
 - 3.3. 送信の取消について
- 4. メール処理の仕様詳細
 - 4.1. メール認証
 - 4.2. メール形式の確認（受理可能なメール形式）
 - 4.3. 連携対象ファイル数の集計
 - 4.3.1. 連携対象ファイルの条件
 - 4.3.2. セクション設定に応じた連携要否の判定
 - 4.3.3. 連携対象ファイルが1件も存在しない場合の処理
 - 4.4. ファイル連携
 - 4.4.1. クリプト便へのファイル連携処理
 - 4.4.2. 事後処理（連携済ファイルの削除とファイルパスワードの追記）
 - 4.5. メールの再構成と転送
- 5.トラブルシューティング
 - 5.1. 40MBを超える送信を行った際のエラーについて
 - 5.2. バウンスメールについて
 - 5.3. 添付ファイルが変更されるケースについて
 - 5.4. 添付ファイルがwinmail.datになって受信者に届く
 - 5.5. 同じメールが複数通届く

- 5.6. メール本文の意図しない箇所に "file://" 等のURLスキーマが表示される
- 5.7. メールの件名や本文で、連続した複数のスペースが1つに集約される
- 5.8. その他のエラー通知について
 - 5.8.1. 添付ファイルのファイル名に使用できない文字が使われている
 - 5.8.2. 添付ファイルの数が上限を超えている
 - 5.8.3. 添付ファイルにファイル名がないファイルが存在する
 - 5.8.4. 同じファイル名の添付ファイルが存在する
 - 5.8.5. ファイル名の長さが上限（255文字）を超えている
 - 5.8.6. クリプト便で使用が禁止されたファイル名が使用されている
 - 5.8.7. クリプト便で使用が禁止されたファイル拡張子が使用されている
 - 5.8.8. 添付ファイルにウィルスが見つかった
 - 5.8.9. ファイルの添付形式に不備がある
 - 5.8.10. 特定の形式で暗号化されたファイルが添付されている
 - 5.8.11. ファイル容量またはメールサイズが上限を超えている
 - 5.8.12. 宛先のメールアドレス数が上限（50個）を超えている
 - 5.8.13. 宛先メールアドレスの形式が不正
 - 5.8.14. 同じ宛先のメールアドレスが存在する
 - 5.8.15. 宛先のメールアドレスへの送信が制限されている
 - 5.8.16. 件名の文字数が上限（200文字）を超えている
 - 5.8.17. 件名に使用できない文字が含まれている
 - 5.8.18. メールヘッダー（Message-ID）の値が不正です
 - 5.8.19. 承認者により送信が承認されなかった
 - 5.8.20. 個人ユーザのパスワードの有効期限が切れている
 - 5.8.21. 個人ユーザが存在しない
 - 5.8.22. 個人ユーザのセクション設定に不備がある
 - 5.8.23. システム用ユーザ（デフォルトユーザ）のセクション設定に不備がある
 - 5.8.24. システム用ユーザ（デフォルトユーザ）または個人ユーザのセクション設定に不備がある

- 5.8.25. クリプト便がシステムメンテナンス中
- 5.8.26. セクション設定に不備がある
- 5.8.27. 予期しないエラーが発生した

- 付録

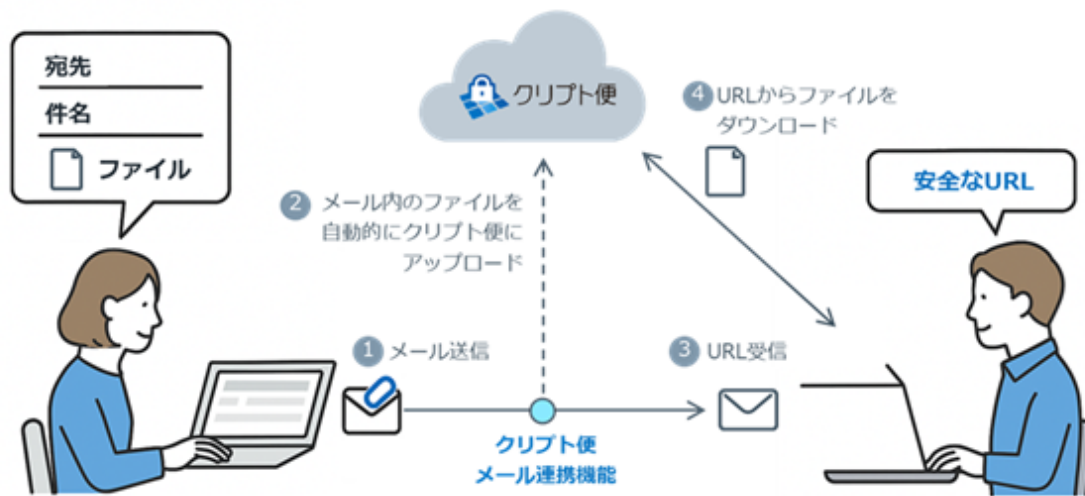
- 付録1. メール内で重複が禁止されているヘッダー一覧
- 付録2. クリプト便経由での送信が必須のファイル拡張子一覧

2. サービス概要

クリプト便メール連携オプション（以下、「本オプション」）を利用することで、送信者は普段通りメールにファイルを添付して送信するだけで、添付ファイルは自動的に分離され、クリプト便経由で相手に安全に送付することができます。

受信者は、添付ファイルなしのメールを受信し、メッセージを確認すると同時に、通知されたURLにアクセスしてクリプト便のサイトからダウンロードする形で添付ファイルを受領します。

このように、ユーザは特別な操作を意識することなく、従来のメール送信の流れを変えずに、セキュリティ強化を実現できます（下図を参照）。



3. メール連携オプションの使い方

3.1. 添付ファイル付きメールの送信について

3.1.1. メールの送信

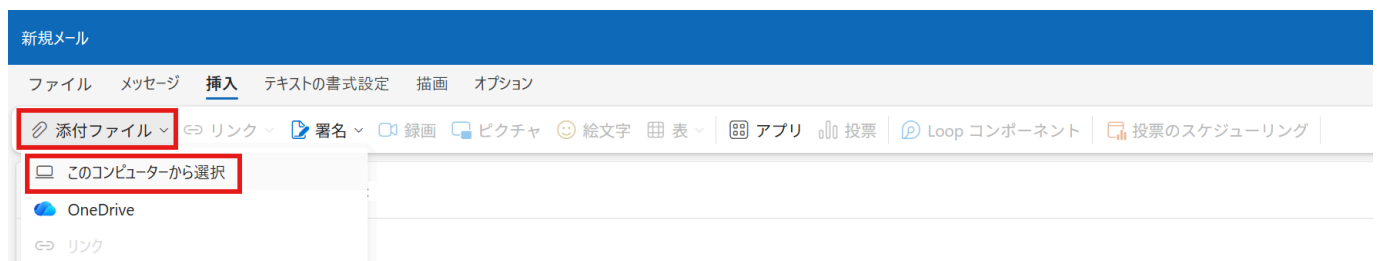
以下のメールクライアントのいずれかをご利用いただき、添付ファイル付きメール（署名・暗号化なし）をお送りください。

ファイルを追加する際は、メールクライアントのファイル添付機能（クリップマークなどの「添付」ボタン）を利用することをおすすめします。

- Microsoft Outlook for Microsoft 365 MSO
- Outlook for Windows ([Microsoft Store](#) よりダウンロード可能)
- Outlook on the web (<https://outlook.cloud.microsoft/>)
- Gmail (<https://mail.google.com/>)

なお、本オプションを利用して送信できるメールの最大サイズは40MBです。

メールの合計サイズ（添付ファイルを含む）は、40MB 未満に保つ必要があります。



3.1.2. 送信完了

受信者には、クリプト便のお預かり通知メールと、ファイル取得用パスワードが挿入されたメール本文が届きます。

通常、ユーザが添付ファイル付きメールを送信してから受信者にクリプト便と送信メールが届くまで数分程度かかりますが、システムの負荷状況によってはさらに時間を要する場合がございます。

承認機能をご利用の場合

ご利用のセクションで承認機能が有効化されている場合、添付ファイルは承認者による承認が完了した後にクリプト便経由で受信者に送信されます。

メール本文は承認の完了を待たずに受信者に届きますが、ファイルのダウンロードは承認完了後に可能となります。

3.2. クリプト便の受信について

受信者には、ファイル取得用のパスワードが付与されたメールが届きます。

なお、送信元のセクションで承認機能が有効化されている場合と、そうでない場合とで、メール本文に挿入される案内文が異なります。

＜メール本文に挿入される情報のサンプル（承認なしの場合）＞

【ご案内】

こちらのメールは、添付ファイルがクリプト便によって送信されています。

添付ファイルを取得する際は、別途届きますクリプト便からの通知メールに記載のURLにアクセスいただき、

下記パスワードをご入力ください。

クリプト便ファイルパスワード：

kgtUAv%hF:~xU~8

送信者 : sample-user@example.com

お預かり日時 : 2026/01/01 00:00

件名 : 【クリプト便】会議の資料を送付いたします

＜メール本文に挿入される情報のサンプル（承認ありの場合）＞

【ご案内】

こちらのメールは、送信元の承認者が承認され次第、添付ファイルがクリプト便によって送信されています。

添付ファイルを取得する際は、別途届きますクリプト便からの通知メールに記載のURLにアクセスいただき、

下記パスワードをご入力ください。

クリプト便ファイルパスワード：

kgtUAv%hF:~xU~8

送信者 : sample-user@example.com

お預かり日時 : 2026/01/01 00:00

件名 : 【クリプト便】会議の資料を送付いたします

承認ありの場合の注意事項

承認機能が有効なセクションから送信された場合、受信者のメール本文には「送信元の承認者が承認され次第」と記載されます。

承認者が承認を完了するまで、クリプト便のお預かり通知メールは届きません。承認完了後に、お預かり通知メールが届きます。

また、承認なしの場合は同時に、承認ありの場合は承認完了後に、[お預かり通知メール](#)が届きます。

ファイルのダウンロードの際は、メール本文に記載されている「クリプト便ファイルパスワード」を利用します。

ご利用環境によるURLの違いについて

お預かり通知メールに記載されるURLは、ご利用のクリプト便環境によって異なる場合があります。

専用ドメインをご契約の場合は、通知メール内のURLが契約先の専用ドメインとなります。

<お預かり通知メールのサンプル>

件名

【クリプト便】会議の資料を送付いたします

本文

ゲストユーザ 様

クリプト便をご利用いただき、誠にありがとうございます。

あなた宛にメッセージをお預かりしております。
下記URLよりご確認ください。

<https://cryvia.cryptobin.jp/crypto/non.action?cd=xxx>

送信者 : 送信ユーザ(sample-user@example.com)
お預かり日時 : 2026/01/01 00:00:00
有効期限 : 2026/01/07

ファイルをお預かりしています。
お心当たりがない場合には、送信者にお問い合わせください。

--- ファイル -----
議事録.txt
2026年度予算.pptx

*** 注意 ***

このメールは送信専用アドレスから送信しています。
ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

3.3. 送信の取消について

送信を行ったユーザのアカウントでクリプト便の一般ユーザ画面にログインし、送信取消を行うことが可能です。

送信済みメッセージを取り消す

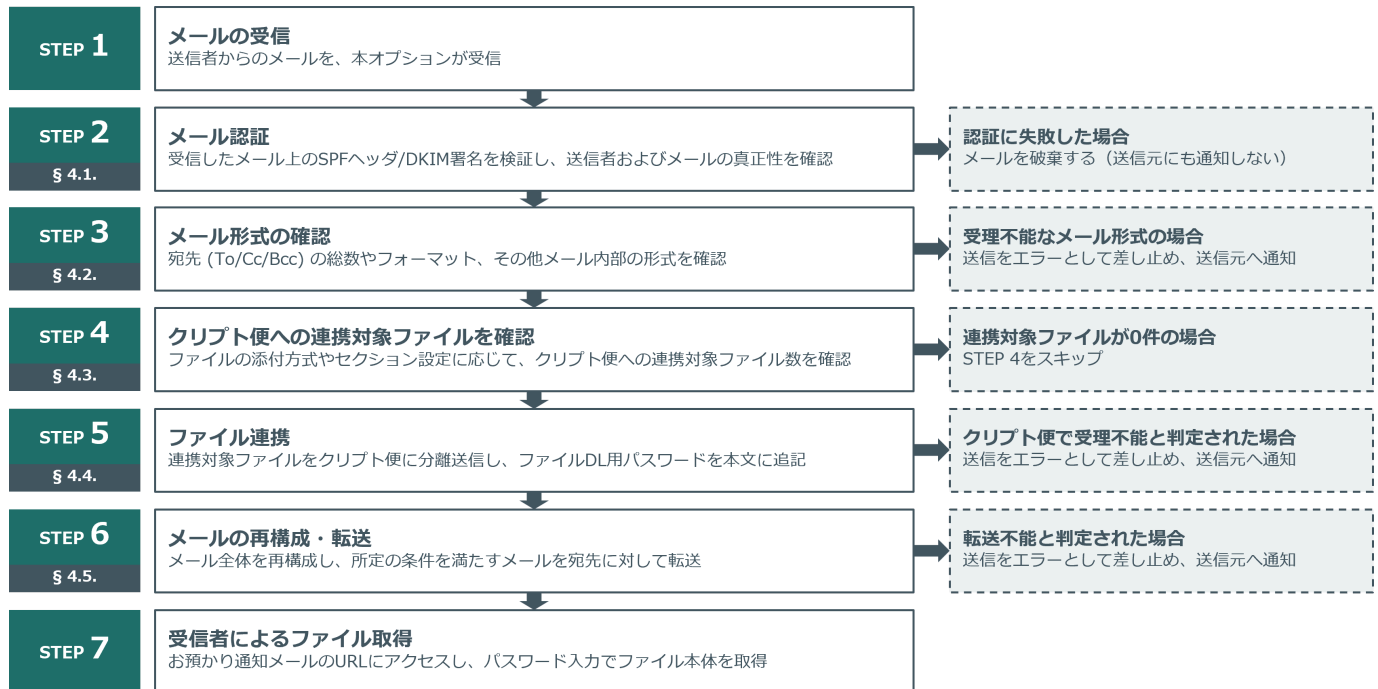
クリプト便のアカウントを所持していない、もしくはメール連携用デフォルトユーザで送信されたメッセージについては、送信者自身でメッセージを取り消すことはできません。

やむを得ず送信の取消を行いたい場合は、セクション管理者様にご相談ください。

4. メール処理の仕様詳細

本オプションは、送信者・受信者間のメール配送を仲介する形で動作し、下記フロー図に沿って処理されます。

各STEPにおける制約・留意事項は、後述の節に記載の通りです。



4.1. メール認証

本オプションでは、送信者より受信したメールに対して、以下のセキュリティ検証を実施することで、送信者およびメールの真正性を確認します。

いずれかの検証に失敗した場合には、同メールを破棄します。

- Sender Policy Framework (SPF) に関連するメールヘッダの検証
- DomainKeys Identified Mail (DKIM) によるメール署名の検証
- 送信元メールアドレスに含まれるドメインが、システム内の受入許可リストに登録されていることの確認

- ご契約次第では、DKIM署名の検証成否は考慮せずに真正性を判定する設定となっているケースがあります。詳細はセクション管理者様までお問い合わせください。
- 認証の失敗により、破棄されたメールは送信元に通知されません。メールの不達が続く場合には、セクション管理者様経由で弊社サポートデスクまでお問い合わせください。

4.2. メール形式の確認（受理可能なメール形式）

本オプションでは、送信されたメールの内部構造を最初に確認し、安全に処理できる形式かどうかを判定します。

例えば、次のようなメールは受理せず、エラーとして送信を差し止めたうえで、送信元に通知します。

- To/Cc/Bcc に指定された宛先の総数が 51 件以上である
- To/Cc/Bcc にマルチバイト文字（全角文字など）が含まれる
- メール全体または一部が暗号化されている（PGP等）
- 本文内に、特殊な形式で埋め込まれたファイルが存在する
- 5章に記載したエラー条件に該当する

なお、画像やアイコンの貼り付け、ドラッグ&ドロップによる本文埋め込みは、メールクライアントによっては特殊な形式に変換されることがあります。

クリプト便へ連携したいファイルは、メールクライアントの「添付」ボタンから追加することをおすすめします。

技術仕様：

より具体的には、**メールコンテンツの内部フォーマットがRFC 5322 に準拠し、かつ以下の条件のいずれにも該当しないメールのみ**、受理可能です。

1. To/Cc/Bcc に指定された宛先の総数が 51 件以上である
2. 特定のメールヘッダが重複して記述されている
 - 重複が禁止されているメールヘッダー一覧は、付録にてご確認ください。
3. SMTPUTF8 拡張（RFC 6531）に該当する文字列が使用されている
4. To/Cc/Bcc に指定された宛先の中に、RFC 5322 に準拠していないアドレス（以下、一例）が一つ以上含まれている
 - マルチバイト文字（全角文字など）が含まれる
 - アドレス全体がクォーテーションで囲まれている
5. 添付ファイルを除いたメール容量（ヘッダおよび本文など）が、概ね 10MB を超過している
6. 送信元メールアドレス（いわゆる Envelope From アドレス）が指定されていない
7. MIME パート数が 501 件以上である
8. 添付ファイルが格納されているメールパート内の **Content-Type** ヘッダの値が、以下のいずれかに該当する
 - **application/pgp-encrypted**（PGP暗号化パート）
 - **application/pkcs7-mime**（S/MIME暗号化・署名パート）
 - **application/x-pkcs7-mime**（同上）
9. 本文内のHTMLタグとして、**data: URL** スキームが含まれる
10. **.msg** の拡張子を有する添付ファイルが含まれる
11. メールヘッダーの**Message-ID**が987文字以上
12. 添付ファイル名の文字数が256文字以上

- 例外的に、サポート形式外のメールを処理可能なケースもありますが、あくまでも当該時点における一時的な挙動であり、本オプションの仕様として定められたものではない点にご留意ください。
- 上記は、あくまでもメール形式に関する制約であり、添付ファイルおよびクリプト便セクションに関する制約は別途存在します。詳細は、次節ならびに5章（トラブルシューティング）をご覧ください。

- .msg 形式のファイルを添付した場合には、「添付ファイル名が無い」旨のエラーが送信元に通知されるケースがありますが、不具合ではありません。5章も併せてご参照ください。

4.3. 連携対象ファイル数の集計

前節の条件を満たしたメールに添付ファイルが含まれる場合には、まずクリプト便の連携対象となるファイル数を集計します。

4.3.1. 連携対象ファイルの条件

メールの内部構造に問題がなく、かつ以下の操作によって添付されたファイルは、原則としてクリプト便への連携対象ファイルとして自動抽出されます。

ただし、本文テキストとして扱われるパートは連携対象外となります。

- 「添付」ボタンやドラッグ&ドロップなどのメールクライアントの操作により、明示的に添付されたファイル
- HTMLメール本文に埋め込まれた画像・アイコンなど（インラインファイル）

技術仕様：

以下の条件のすべてを満たすメールパート内の情報は、クリプト便に連携されません。

- パート内の **Content-Type** ヘッダの値として、**text/plain** または **text/html** が明記されているか、あるいは無指定である
- パート内の **Content-Disposition** ヘッダの値として、**inline** が明記されているか、あるいは無指定である

それ以外のメールパートは、原則としてすべてクリプト便への連携対象ファイルとして自動抽出されます。

4.3.2. セクション設定に応じた連携要否の判定

セクション毎の本オプション専用設定に応じて、前節の要件を満たしたファイルを、クリプト便経由で送信するか否かをバックグラウンドで決定します。

添付ファイルをクリプト便で別送せず、メールにて直接送信するように設定されているケースもあり、その場合には次節の処理をスキップします。

条件の詳細は、セクション管理者様までお問い合わせください。

4.3.3. 連携対象ファイルが1件も存在しない場合の処理

メール内に、クリプト便への連携対象ファイルが1件も存在しない場合は、次節の処理をスキップします。

4.4. ファイル連携

4.4.1. クリプト便へのファイル連携処理

前節の要件を満たしたファイルを、クリプト便経由で送信します。

クリプト便の送信元は、セクション設定に応じて「個人ユーザ（送信元メールアドレスに対応するクリプト便ユーザ）」または「システム用ユーザ（メール連携用デフォルトユーザ）」のいずれかとなります。

クリプト便によるファイル送信が失敗した場合には、エラーとして後続の処理を差し止めたうえで、送信元に通知します。

エラーの種別・詳細は、5章にてご確認ください。

4.4.2. 事後処理（連携済ファイルの削除とファイルパスワードの追記）

クリプト便へ連携されたファイルは、メール上から削除されます。

また、連携済ファイルが削除された後のメール本文の冒頭には、クリプト便のファイル取得用パスワードが追記されます。

技術仕様：

- 削除処理では、元のメールから宛先・件名・本文を抽出した上で、送信用メールを再構成します。その際に、元のメール上に存在していた添付ファイル部分のメールパートは除外されます。
- 同時に、HTMLメール内から、添付ファイルパートをインライン参照する記述も削除・置換します。ただし、パート内に **Content-ID** ヘッダが存在する場合に限ります。
- インライン参照の削除対象は、主に以下のHTMLタグ・属性です。
 - 下記タグの **src** 属性のうち、値が **cid:** で始まるもの
 - ** タグ
 - <video>** タグ
 - <audio>** タグ
 - <input type="image">** タグ
 - <embed>** タグ
 - <object>** タグの **data** 属性
 - 各種タグの **background** 属性（値が **cid:** で始まるもの）
 - 各種タグの **style** 属性内における、**url** を接尾辞とするCSSプロパティ（値が **cid:** で始まるもの）

4.5. メールの再構成と転送

前節までの処理が適用された後のメールは、再構成されたうえで本来の宛先へ転送されます。

本オプションを介して送信されたメールのヘッダについて、完全な一貫性は保証されません。

また、再構成されたメールを本来の宛先に転送する前には、以下の条件に基づく可否判定が行われます。
もし、いずれかの条件を満たさない場合には、エラーとして送信を差し止めたうえで、送信元に通知します。

1. 再構成されたメールの形式が、4.2.節に記載の条件を満たす
2. 特定のファイル拡張子を有する添付ファイルやインラインファイルが、メール上に残存していない
(※ 対象拡張子の一覧は、付録にてご確認ください。)
3. メール内の全宛先が、弊社管理のサブプレッションリスト（過去の転送時に、エラーや配信停止の履歴がある宛先のリスト）に掲載されていない
4. 送信元メールアドレスに含まれるドメインが、システム内の受入許可リストに登録されていること

- もし、前節の処理を経て、添付ファイルがクリプト便経由で送信されていた場合には、「本来の宛先に対して、お預かり通知メールは届くものの、本文とファイルパスワードは届かない」という挙動となります。
- サプレッションリストへの宛先登録は、システム内部で自動的行われます。
また、一度リストに登録された宛先は、手動で削除するまでの間は、恒久的に残存します。
もし、特定の宛先を含むメールが、複数回連続して不達となる事象が発生した際には、下記点をご確認いただいた上で、セクション管理者様経由で弊社サポートデスクまでお問い合わせください。
 - 宛先メールアドレスが存在する
 - 宛先メールアドレスにて、本オプションを経由していないメールを受信可能である

5. トラブルシューティング

メール送信に失敗する等の予期しない挙動が発生するケースと、対処方法についてご紹介します。

5.1. 40MBを超える送信を行った際のエラーについて

以下のエラー通知が届いた場合、添付ファイルを含むメールのサイズが40MB以下となるよう修正してから再送してください。

また、40MBを超過するファイルを送信する場合は、Web画面からクリプト便をご利用ください。

＜メールクライアントにMicrosoft Outlookをお使いの場合の例＞



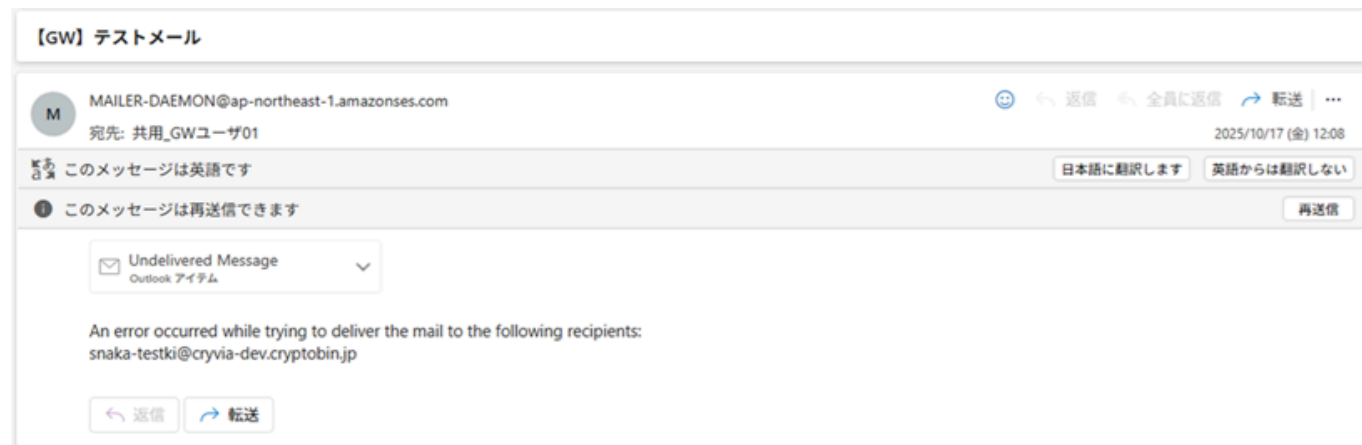
5.2. バウンスメールについて

以下のエラー通知が届いた場合、存在しない宛先に送信した場合や、宛先ドメインのメールサーバの障害、宛先メールボックスの容量不足、メール連携オプション機能の障害などの可能性があります。

バウンスメールの内容をご確認のうえ、必要に応じて再送してください。

件名： <送信したメールの件名が記載されます>
差出人(From)： MAILER-DAEMON@ap-northeast-1.amazonaws.com
宛先(To)： <送信者のメールアドレス>
本文： An error occurred while trying to deliver the mail to the following recipients: <エラーになった宛先メールアドレス>
添付ファイル： <送信したメール原本が添付されます>

<バウンスメールのサンプル>



特定の宛先を含むメールに対してバウンスメールが届くようになった場合には、弊社管理のサプレッションリストに、宛先メールアドレスが登録されている可能性があります。
詳細は前章にてご確認ください。

5.3. 添付ファイルが変更されるケースについて

メールクライアント上で、添付ファイルの内容が自動的に書き換えられるケースがあります。
具体的な事例は、以下の通りです。

- テキストファイルの改行コードが、メールの送信時に変更される
- メール内に埋め込んだ画像ファイルの形式・フォーマットが、メールの下書き保存時に変更される

これらの事象は、Microsoft Outlook などで作成可能な「リッチテキスト」の形式でメールを送信した際に発生する場合があります。

本オプションをご利用になる際は、メール形式として「プレーンテキスト」または「HTML」をご選択いただくことを推奨します。

また、必要に応じて、通常のクリプト便によるファイル転送もご検討ください。

5.4. 添付ファイルがwinmail.datになって受信者に届く

Microsoft Outlook などで作成可能な「リッチテキスト」形式でメールを送信した際に、添付ファイルが winmail.dat となって受信者に届く場合があります。

本オプションをご利用になる際は、メール形式として「プレーンテキスト」または「HTML」をご選択いただくことを推奨します。

5.5. 同じメールが複数通届く

複数回送信操作を行っていない場合でも、同一内容のメール本文や通知メールが複数通届くことがあります。
本事象は、通信遅延やご利用のメール環境における再送処理などが原因で、一時的に発生する場合があります。

頻繁に発生する場合は、セクション管理者様経由でクリプト便ヘルプデスクまでご相談ください。

5.6. メール本文の意図しない箇所に "file://" 等のURLスキーマが表示される

本文の意図しない箇所に "file://" などのURLスキーマが付与されて表示される場合があります。
2026年10月現在において、弊社にて事象の発生を確認している環境は以下となります。

- メールクライアントとして Outlook for Windows や Outlook on the web を利用している
- メール本文中に、バックスラッシュ（"¥"）が2回以上連続して記載されている箇所がある

本事象は、メール連携オプションの利用有無を問わずに発生しており、ご利用のメールクライアントにおけるテキスト解釈および表示（レンダリング）の仕様に起因している可能性があります。

送信されたメールデータ自体に異常や不備はないため、該当のメールをeml形式でエクスポートし、他のメールクライアントで開くことで、本来の意図通りの記載をご確認いただける場合があります。

5.7. メールの件名や本文で、連続した複数のスペースが1つに集約される

Gmailなどの特定のメールクライアントを用いている場合に、メール件名および本文上の連続した複数のスペース（空白）が、1つのスペースに集約されて表示される場合があります。

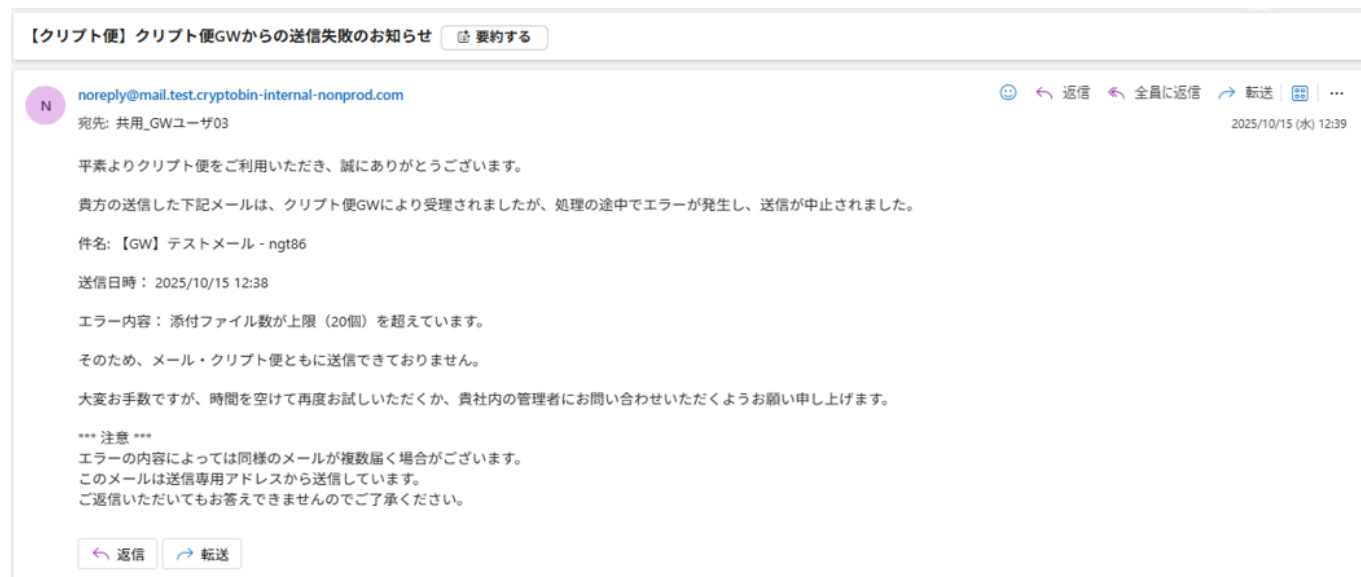
本事象も、メール連携オプションの利用有無を問わずに発生しており、ご利用のメールクライアントにおける表示仕様に起因している可能性があります。

該当のメールをeml形式でエクスポートし、他のメールクライアントで開くことで、本来の意図通りの記載をご確認いただける場合があります。

5.8. その他のエラー通知について

以下のようなエラー通知が届いた場合、メールに記載されたエラー内容に応じた対処を行い、再送してください。

<エラー通知のサンプル>



5.8.1. 添付ファイルのファイル名に使用できない文字が使われている

エラー内容： 添付ファイルのファイル名に使用できない文字が使われています。

添付ファイルのファイル名に4バイト文字を使用しないよう修正してから再送してください。

5.8.2. 添付ファイルの数が上限を超えている

エラー内容： 添付ファイル数が上限（20個）を超えています。

エラー内容： ファイル数が上限（20個）を超えています。

添付ファイルの数が20個以内となるよう修正してから再送してください。

5.8.3. 添付ファイルにファイル名がないファイルが存在する

エラー内容： 添付ファイルにファイル名がないファイルが存在します。

添付ファイル名として、印刷不能な文字や、4Byte以上の文字（絵文字など）が含まれていないことを確認してください。

なお、クライアントの挙動上、`.msg` の拡張子を有する添付ファイルが含まれるメールを送信しようとすると、本エラーが発生するケースがあります。

5.8.4. 同じファイル名の添付ファイルが存在する

エラー内容： 同じファイル名の添付ファイルが存在します。

添付ファイルおよびインライン画像のファイル名が重複しないよう修正してから再送してください。

5.8.5. ファイル名の長さが上限（255文字）を超えている

エラー内容： ファイル名の長さが上限（255文字）を超えています。

ファイル名を255文字以内に修正してから再送してください。

5.8.6. クリプト便で使用が禁止されたファイル名が使用されている

エラー内容： クリプト便で使用が禁止されたファイル名が使用されています。

ご利用のセクション・グループで禁止されているファイル名の添付ファイルを取り除いてから再送してください。

5.8.7. クリプト便で使用が禁止されたファイル拡張子が使用されている

エラー内容： 禁止されたファイル拡張子が使用されています。

付録に記載の拡張子を含むファイルを取り除いてから再送してください。

5.8.8. 添付ファイルにウィルスが見つかった

エラー内容： 添付ファイルにウイルスが見つかりました。添付ファイルを削除してください。

添付ファイルがウイルスに感染している可能性があります。

当該ファイル（検体）をクリプト便ヘルプデスクまでお送りいただくことで、原因を確認できます。

確認をご希望の場合はセクション管理者様経由でクリプト便ヘルプデスクまでご相談ください。

5.8.9. ファイルの添付形式に不備がある

エラー内容： メールにファイルを添付する方法が不正です。(data: URL形式)

メール本文のHTMLタグ内に、**data: URL** スキームで埋め込まれたファイルが含まれている可能性があります。

メールをプレーンテキスト形式に変更し、本文内に埋め込まれていた画像類を、メールクライアントの「添付」ボタンで追加し直してから再送してください。

5.8.10. 特定の形式で暗号化されたファイルが添付されている

エラー内容： 暗号化されたファイルを「クリプト便メール連携」経由で送信することはできません。

PGP などの特定の形式で暗号化された添付ファイルが含まれている可能性があります。

メールクライアント上で、メールを暗号化して送付する設定が有効化されている場合には、解除した上で再送してください。

メールクライアントの設定に関する詳細は、システム管理者様にご相談ください。

5.8.11. ファイル容量またはメールサイズが上限を超えている

エラー内容： ファイル容量が上限を超えています。

エラー内容： 送信メールサイズが上限（40MB）を超えています。

添付ファイルを含むメールのサイズが、ご契約サイズかつ40MB以内となるよう修正してから再送してください。

5.8.12. 宛先のメールアドレス数が上限（50個）を超えている

エラー内容：宛先のメールアドレス数が上限（50個）を超えています。

To/Cc/Bccの宛先数の合計が50個を超過しています。宛先を減らしてから再送してください。

5.8.13. 宛先メールアドレスの形式が不正

エラー内容：宛先に不正な形式のメールアドレスが含まれています。

エラー内容：送信元メールアドレスの形式が不正です。

宛先メールアドレスの形式を正しく修正してから再送してください。

5.8.14. 同じ宛先のメールアドレスが存在する

エラー内容：同じ宛先のメールアドレスが存在します。

宛先のメールアドレスの重複を解消してから再送してください。

5.8.15. 宛先のメールアドレスへの送信が制限されている

エラー内容：宛先のメールアドレスへの送信が制限されています。

ご利用のセクション・グループで禁止されている宛先を取り除いてから再送してください。

5.8.16. 件名の文字数が上限（200文字）を超えている

エラー内容：件名の文字数が上限（200文字）を超えています。

件名の文字を200文字以内に修正してから再送してください。

5.8.17. 件名に使用できない文字が含まれている

エラー内容： 件名に使用できない文字が含まれています。

件名に4バイト文字を使用しないよう修正してから再送してください。

5.8.18. メールヘッダー（Message-ID）の値が不正です

エラー内容： メールヘッダー（Message-ID）の値が不正です。

メールヘッダーの**Message-ID**の値を確認し、正しい形式でメールを再送してください。

5.8.19. 承認者により送信が承認されなかった

エラー内容： 承認が却下されました。

エラー内容： 承認設定の内容が不正です。

エラー内容： 禁止された承認設定が設定されています。

承認機能が有効なセクションにおいて、承認者が送信を承認しなかった場合や、承認設定に不備がある場合に通知されます。

内容を確認のうえ、必要に応じて再送するか、セクション管理者様にご相談ください。

5.8.20. 個人ユーザのパスワードの有効期限が切れている

エラー内容： クリプト便の送信アカウントのパスワードの有効期限が切れています。

WEB画面から、個人ユーザ（送信元メールアドレスに対応するクリプト便ユーザ）でログインし、パスワードを更新してください。

5.8.21. 個人ユーザが存在しない

エラー内容： メールアドレスに紐づくクリプト便ユーザーが存在しません。

現状のセクション設定では、個人ユーザ（送信元メールアドレスに対応するクリプト便ユーザ）を事前登録した上で、本オプションをご利用いただく必要があります。

セクション管理者様にご相談ください。

5.8.22. 個人ユーザのセクション設定に不備がある

エラー内容： クリプト便の送信ユーザがメール連携オプショングループに所属していません。

エラー内容： クリプト便の送信アカウントがロックされています。

エラー内容： 登録されているクリプト便の専用ドメインが誤っている可能性があります。

個人ユーザ（送信元メールアドレスに対応するクリプト便ユーザ）のセクション設定に不備があり、本オプションが利用できない状態です。

セクション管理者様にご相談ください。

5.8.23. システム用ユーザ（デフォルトユーザ）のセクション設定に不備がある

エラー内容： クリプト便のログインIDまたはパスワードが誤っています。

エラー内容： クリプト便のIDとパスワードが必要です。

エラー内容： クリプト便の共用アカウントがロックされています。

エラー内容： クリプト便のパスワードが初期化されています。

エラー内容： クリプト便のパスワードの有効期限が切れています。

システム用ユーザ（メール連携用デフォルトユーザ）のセクション設定に不備があり、本オプションが利用できない状態です。

セクション管理者様にご相談ください。

5.8.24. システム用ユーザ（デフォルトユーザ）または個人ユーザのセクション設定に不備がある

エラー内容： クリプト便のユーザがグループに所属していません。

エラー内容： 登録されているクリプト便の専用ドメインが誤っている可能性があります。

個人ユーザ（送信元メールアドレスに対応するクリプト便ユーザ）、またはシステム用ユーザ（メール連携用デフォルトユーザ）のセクション設定に不備があり、本オプションが利用できない状態です。

セクション管理者様にご相談ください。

5.8.25. クリプト便がシステムメンテナンス中

エラー内容： クリプト便がシステムメンテナンス中です。

クリプト便がシステムメンテナンス中の状態です。

メンテナンス中に送信されたメールは、メンテナンス終了後に正常に処理される場合もありますが、本エラー通知が届いた場合は、メンテナンスが完了したことを確認のうえ、再送してください。

なお、メンテナンス時間については、クリプト便のログイン画面等からご確認ください。

5.8.26. セクション設定に不備がある

エラー内容： クリプト便のIPアドレス許可設定に不備があります。

エラー内容： クリプト便のセクション設定でオートパイロットがOFFになっています。

エラー内容： クリプト便のグループIDが無効です。

エラー内容： クリプト便のファイルお預かり期間が不正です。

エラー内容： クリプト便のメール連携オプションが設定されていません。

エラー内容： クリプト便のメール連携オプショングループが設定されていません。

セクション設定に不備があり、本オプションが利用できない状態です。

セクション管理者様にご相談ください。

5.8.27. 予期しないエラーが発生した

エラー内容： クリプト便のサーバで一時的なエラーが発生しました。

エラー内容： クリプト便の処理で一時的なエラーが発生しました。

エラー内容： クリプト便の処理中に予期しないエラーが発生しました。

エラー内容： 添付ファイルの送信に失敗しました。

エラー内容： メールの送信処理中にシステムエラーが発生しました。

システムで一時的なエラーが発生している可能性があります。

しばらく時間を置いてから再送してください。

その後も事象が解消しない場合は、セクション管理者にご相談ください。

付録

付録1. メール内で重複が禁止されているヘッダー一覧

Accept-Language	acceptLanguage	Archived-At
Auto-Submitted	Bounces-to	Comments
Content-Alternative	Content-Base	Content-Class
Content-Description	Content-Disposition	Content-Duration
Content-ID	Content-Language	Content-Length
Content-Location	Content-MD5	Content-Transfer-Encoding
Content-Type	Date	Delivered-To
Disposition-Notification-Options	Disposition-Notification-To	DKIM-Signature
DomainKey-Signature	Errors-To	From
Importance	In-Reply-To	Keywords
List-Archive	List-Help	List-Id
List-Owner	List-Post	List-Subscribe
List-Unsubscribe	List-Unsubscribe-Post	Message-Context
Message-ID	MIME-Version	Organization
Original-From	Original-Message-ID	Original-Recipient
Original-Subject	Precedence	Priority
References	Reply-To	Return-Path
Return-Receipt-To	Sender	Solicitation
Sensitivity	Subject	Thread-Index

Thread-Topic	User-Agent	VBR-Info

付録2. クリプト便経由での送信が必須のファイル拡張子一覧

4章に記載の通り、一部の添付ファイルは、クリプト便経由で送信されずに、メールに添付されたまま直接送信されます。

当該ケースにおいて、以下の拡張子を有するファイルが含まれている場合には、エラーとして送信を差し止めたうえで、送信元に通知します。

.ade	.adp	.app	.asp	.bas	.bat	.cer
.chm	.cmd	.com	.cpl	.crt	.csh	.der
.exe	.fxp	.gadget	.hlp	.hta	.inf	.ins
.isp	.its	.js	.jse	.ksh	.lib	.lnk
.mad	.maf	.mag	.mam	.maq	.mar	.mas
.mat	.mau	.mav	.maw	.mda	.mdb	.mde
.mdt	.mdw	.mdz	.msc	.msh	.msh1	.msh2
.mshxml	.msh1xml	.msh2xml	.msi	.msp	.mst	.ops
.pcd	.pif	.plg	.prf	.prg	.reg	.scf
.scr	.sct	.shb	.shs	.sys	.ps1	.ps1xml
.ps2	.ps2xml	.psc1	.psc2	.tmp	.url	.vb
.vbe	.vbs	.vps	.vsmacros	.vss	.vst	.vsw
.vxd	.ws	.wsc	.wsf	.wsh	.xnk	